

京都大学 構造材料元素戦略研究拠点 (ESISM) シンポジウム
『構造材料のブレークスルーをめざして ～わが国の基礎研究の挑戦～』

共催： SIP「革新的構造材料」、ISMA（新構造材料技術研究組合）、
RCSM（物質・材料研究機構 構造材料研究拠点）、
公益社団法人 日本金属学会、一般社団法人 日本鉄鋼協会（予定）

現代社会では、多種多様な構造材料が国民生活や経済基盤を支えている。わが国が長期的展望に立ち、国際優位性を担保し技術開発競争に勝ちぬくためには、既存材料の改良だけではなく常識を覆すような材料開発が必要である。そのためには、既存材料における個別の枠組みにとらわれることなく、構造材料全般に適用できる基礎研究が不可欠である。本シンポジウムでは、わが国が取り組んでいる構造材料プロジェクトを俯瞰し、将来展望を議論する。

日 時 2016年12月27日 13:00～17:10

場 所 学士会館（東京都千代田区神田錦町）

参加費 無料

申 込 admin@esism.kyoto-u.ac.jp まで（12月12日締切；定員70名になり次第、受付終了）

プログラム

13:00～13:10 挨拶 西條 正明（文部科学省）

13:10～13:20 挨拶 岸 輝雄（新構造材料技術研究組合・SIP「革新的構造材料」）

13:20～13:45 「産業界から見たブレークスルー」 五十嵐 正晃（新日鐵住金株式会社）

13:45～14:10 「学界から見たブレークスルー」 古原 忠（東北大学 金属材料研究所）

（休憩）

ESISMにおける研究成果

14:20～14:35 バルクナノメタルの元素戦略的展開 辻 伸泰（京都大学）

14:35～14:50 マイクロ力学試験から見えてきたもの 乾 晴行（京都大学）

14:50～15:05 第一原理計算による構造材料研究の現状 田中 功（京都大学）

（コーヒーブレイク）

拠点およびプロジェクト紹介

15:25～15:35 ESISM 田中 功（京都大学）

15:35～15:45 SIP-SM⁴I 出村 雅彦（東京大学）

15:45～15:55 ISMA 大村 孝仁（物質・材料研究機構）

15:55～16:05 RCSM 土谷 浩一（物質・材料研究機構）

16:10～17:10 総合討論

「わが国の構造材料研究は、どこに向かうべきか」